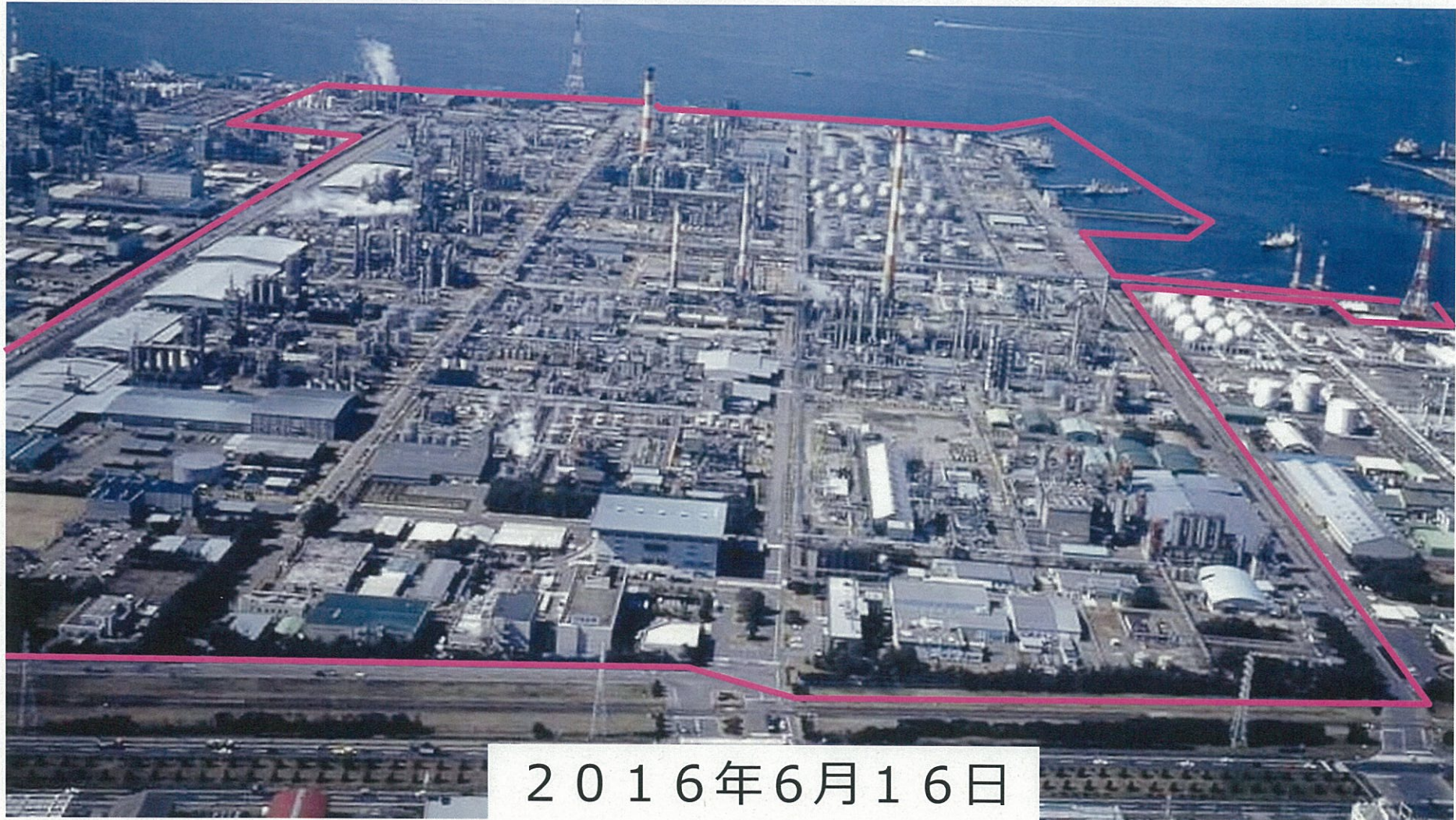


三井化学市原工場 「地域社会への貢献活動」



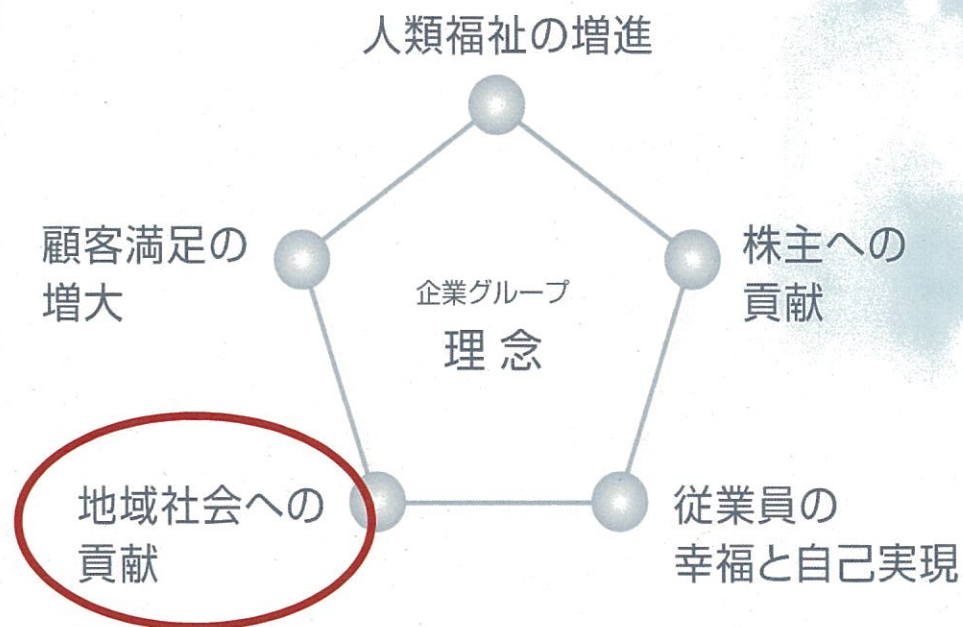
2016年6月16日

◇三井化学グループの理念

三井化学グループは、地球環境との調和の中で、
材料・物質の革新と創出を通して高品質の製品とサービスをお客様
に提供し、もって広く社会に貢献します。



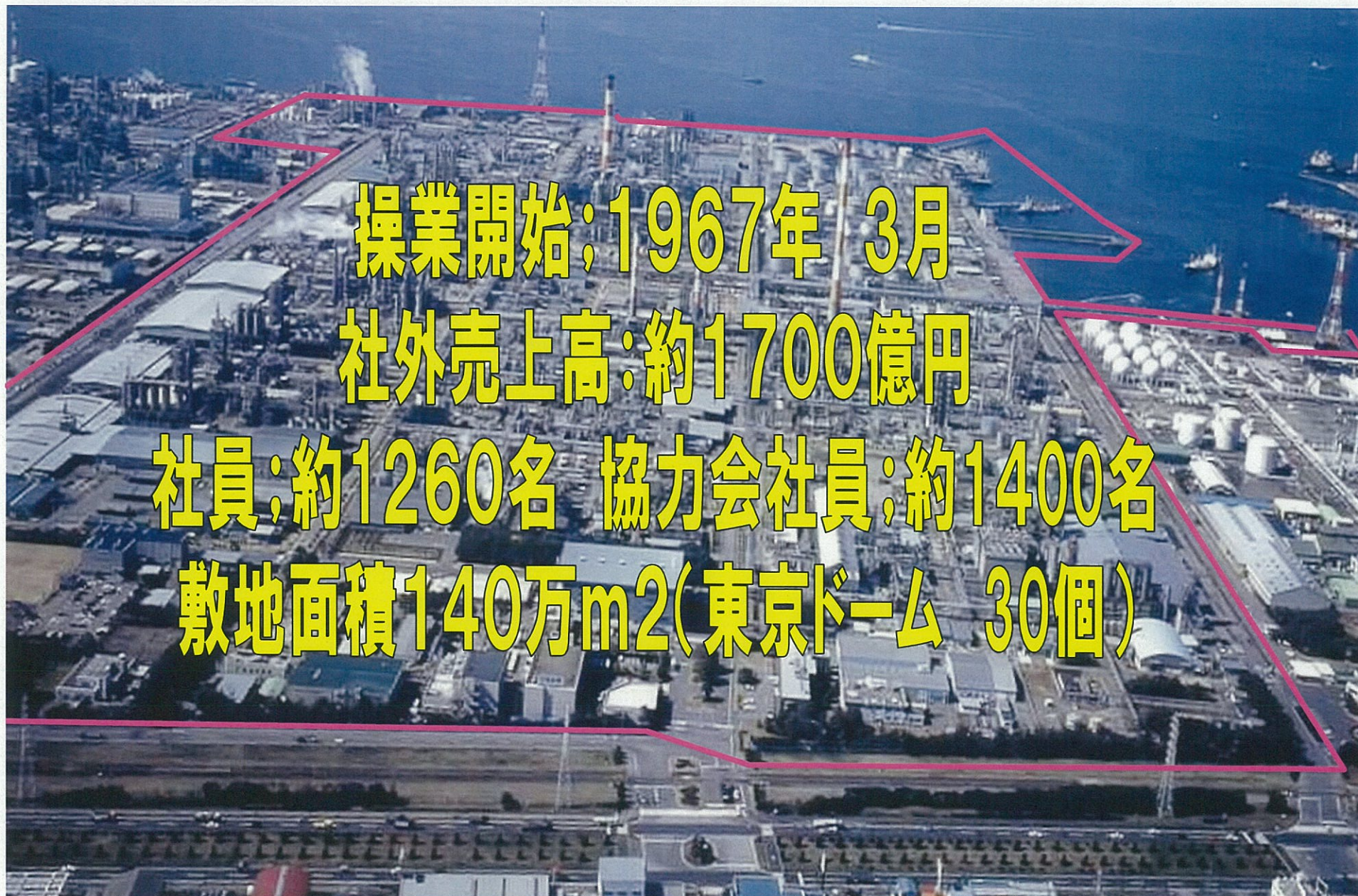
三井化学株式会社
代表取締役社長
淡輪 敏 (たんのわ つとむ)



◇三井化学の工場ロケーション



◇三井化学市原工場の概要



操業開始:1967年 3月

社外売上高:約1700億円

社員:約1260名 協会社員:約1400名

敷地面積140万m²(東京ドーム 30個)

◇三井化学市原工場 工場運営方針

安全はすべてに優先する！



市原工場
工場長 飯田 司

工場運営方針

- ◆安全をすべてに優先し、環境、安全・労働衛生の継続的改善を図り、無事故・無災害を達成する。
- ◆品質の継続的改善を図り、お客様が安心、満足、信頼する製品とサービスを提供する。
- ◆グローバルに展開する三井化学の生産拠点の中核として、徹底した三現主義を実践し、競争力の維持・強化を図る。

を工場運営の基本とする。

私どもは、全員周知・全員参加のもと強い現場力を発揮し、次の事項に機動的に取り組む。

1. すべての法令、協定及び社則を遵守し、誠実に行動する。
2. 保安防災、安全・労働衛生活動へ自主的に取り組み、全員の創意工夫により、受容できないリスクを低減する。
3. 環境汚染の予防及び環境負荷の削減に努め、廃棄物の3R、省資源、省エネルギー、GHGの削減を推進する。
4. 工場活動の透明性を確保し、積極的にお客様及び地域とのコミュニケーションを図る。
5. 工場マネジメントシステムを確実に運用するとともに、定期的に見直し継続的改善を図る。
6. コンビナート連携及び工場革新活動を通じ、国内最強のコストセンター化を推進する。

2013年4月1日
三井化学株式会社 市原工場
工場長 飯田 司

◇目次

1. 地域社会活動

- ①地域広報誌「ちぐさ」の発行
- ②三井化学杯少年・少女スポーツ大会（野球・サッカー）開催
- ③地域開放型行事「秋まつり」の実施
- ④地域住民との対話、工場見学受入（地元町会長、婦人会）
- ⑤近隣地域の環境保全活動（青柳・前川清掃、周辺道路美化）
- ⑥会社施設の地域住民への開放（体育館、グラウンド）

2. 教育支援活動

- ⑦小中高生の工場見学受入（千種小学校、地元工業高校）
- ⑧化学実験教室の開催（ふしぎ探検隊）
- ⑨地元千葉大学との連携（千葉大学化学講座への講師派遣）

3. その他

- ⑩持続的な環境保全活動（プラスチック改善、温室効果ガス排出量削減）
- ⑪近隣企業との連携による地域貢献（市原市臨海部工場連絡会）

①地域広報誌「ちぐさ」の発行

目的：地域の方への情報発信、地域の方のご意見・ご質問に回答する等紙面を通じた双方向のコミュニケーションを図る。

1月号

7月号

(1) 2015年1月1日



Mitsui Chemicals
No.44 2015年1月1日
発行 三井化学株式会社市原工場
住所：〒299-0108 千葉県市原市南岸3番地
電話：0439-52-3221 (総務課総務グループ)
〇三井化学ホームページアドレス
<http://jp.mitsuichem.com/>

新年のご挨拶

新年の挨拶としておめでとうございます。皆様におかれましては、清々しい新年を迎えられたことお慶び申し上げます。

車庫裏、消費財等の影響で国民の消費が安定せず、日本経済からは依然として力強さが感じられない状況が継続しております。

「安全」を第一、「安全」は全てに優先する」という強い決意を持って、安全安定運転に社員一丸となって取り組んでまいります。

今年も「安全」の文字は危機感の上の標榜を表すことに加えて、職場では、本年も安全文化醸成の取り組みを推進し、働きやすい職場づくりを進めます。

今年も、働きやすい職場づくりと理解とご支援を賜りまして、誠にありがとうございます。

執行役員 市原工場長 飯田 司

町会長様ご挨拶



新年のご挨拶申し上げます。

今年も、安全文化醸成の取り組みを推進し、働きやすい職場づくりを進めます。

市原町長 佐藤 隆



新年のご挨拶申し上げます。

今年も、安全文化醸成の取り組みを推進し、働きやすい職場づくりを進めます。

市原町副町長 佐藤 隆



新年のご挨拶申し上げます。

今年も、安全文化醸成の取り組みを推進し、働きやすい職場づくりを進めます。

市原町副町長 佐藤 隆

(1) 2015年7月1日



Mitsui Chemicals
No.45 2015年7月1日
発行 三井化学株式会社市原工場
住所：〒299-0108 千葉県市原市南岸3番地
電話：0439-52-3221 (総務課総務グループ)
〇三井化学ホームページアドレス
<http://jp.mitsuichem.com/>

CSR活動報告

～第5回前川クリーンアップ活動～

4月19日(日)に当工場のCSR活動の一環として、第5回前川クリーンアップ活動を開催しました。この企画は、社員が使用している青森駐車場の周辺、及び前川の周辺を清掃する活動で、今年も社員、協力会社社員のほか、地元町会の皆様にご協力を頂き、総勢148名が活動に参加しました。

当日は曇り空ではありませんでしたが気候は良く、2時間に亘って清掃活動を実施しました。可燃物不燃物合わせて約400個分のごみを回収、また、多量のごみもありました。当、集めたごみは市原市の協力を得て、まとめて処分して頂きました。

回を重ねることに少しずつではありますが、ゴミの量が減ってきています。今後も少しでも地域美化につながるよう、クリーンアップ活動を継続していく予定です。

夏の定期修理

フレアースタック震災のご挨拶

当工場では本年6月から8月にかけて、大規模な定期修理を実施しており、燃焼処理するガスが通常より多くなるためフレアの炎や燃焼音が大きくなる場合があります。安全の確保には細心の注意を払って実施しておりますので、ご迷惑をおかけいたしますが、引き続きご理解のほど宜しくお願い申し上げます。

決算報告

三井化学グループの14年度決算内容を報告します。

14年度の日本経済は、消費増税に伴う駆け込み需要の反動からの持ち直しは進んでいますが、景気回復のペースが鈍化している状況が懸念されています。

化学工業業界におきましては、原油安を受けての買い替えの動きがあったものの、設備稼働率が高水準で推移したことから、全般的には改善傾向となりました。

このような情勢の中当社は昨年を初年度とする新たな中期経営計画の下、モビリティ・ヘルスケア・フード＆パッケージ・エンターテインメントの成長分野の拡大を面した結果業績を大きく伸ばすことができました。

フレアースタックご挨拶

フレアースタックとは、不要なガスを安全確実に燃焼処理するための設備です。

当工場では設備の点検や整備の際に安全を確保するため装置内に残った可燃ガスがフレアースタックに送り出し燃焼処理しています。



15年度も引き続き成長分野を中心とした事業の拡大に向け、一丸となって邁進してまいります。

①地域広報誌「ちぐさ」の発行

◆1995年1月1日開始

◆年2回（1月1日、7月1日）発行

◆主な掲載記事

- ・CSR活動紹介 ふしぎ探検隊（化学実験教室）
クリーンアップ活動
秋祭り
地域向け見学会（婦人、町会長見学会）
三井化学杯（少年野球・サッカー大会）
- ・弊社製品紹介
- ・安全について
- ・環境についての取り組み
- ・新年工場長挨拶（1月）
- ・当社決算報告（7月）
- ・子供用化学実験記事（7月）

②三井化学杯少年・少女スポーツ大会開催

目的：地域社会の交流促進と地域の青少年の健全育成

三井化学杯少年野球大会



みなみ・三井化学杯サッカー大会



③地域開放型行事「秋まつり」の実施

目的：地域社会の交流促進と地域に開かれた工場づくり



2015年
三井化学秋祭り
日時：10月18日(日) 11:00~16:00
場所：三井化学(株)市原工場
※雨天時は体育館内にて縮小実施

◆内容！
ステージ：風神ヤツルギショー・和太鼓・大道芸「ソーシス」(K1特別審査)
水更津高校「バト」部・大抽選会
ちびっこ広場：あわあわランド・ミニゲーム
バトカー&白バイ展示・ふしぎ探検隊
その他：福祉バザー
美味しいもの：模擬店&キッチンカー
工場見学&放水体験

◆イベントスケジュール！※進行状況により工場の見学が多少変更する可能性があります！

時間	11:00	11:15	11:30	11:45	12:00	12:15	12:30	12:45	13:00	13:15	13:30	13:45	14:00	14:15	14:30	14:45	15:00	15:15	15:30	15:45	16:00
開場	開場	開場	開場	開場	開場	開場	開場	開場	開場	開場	開場	開場	開場	開場	開場	開場	開場	開場	開場	開場	開場
閉場	閉場	閉場	閉場	閉場	閉場	閉場	閉場	閉場	閉場	閉場	閉場	閉場	閉場	閉場	閉場	閉場	閉場	閉場	閉場	閉場	閉場

◆会場案内図
三井化学市原工場 秋祭り会場
本更津方面 千葉方面

- ◆開催時期：毎年9月～10月ごろ
- ◆場所：三井化学 市原工場
- ◆対象：社員及び地域住民の方々
- ◆内容（15年度参考）：
放水体験付き工場見学
模擬店
こども用遊具及び出店
ステージイベント

ご当地ヒーロー戦隊ショー、和太鼓、
木更津高校ジャグリング部、キッズダンサー、
ふしぎ探検隊（化学実験教室）
福祉バザー

- ◆協賛：千葉県漁業連合会
サントリービバレッジ(株)
各種保険会社
各種住宅メーカー

③地域開放型行事「秋まつり」の実施



ご当地ヒーローショー



市原警察署様 こども制服コーナー



ふしぎ探検隊（化学実験教室）
～光るプラバンを作ろう！



模擬店コーナー

④地域住民との対話、工場見学受入

目的：工場概要、環境保全活動、安全への取り組みを紹介し、地域住民の皆様が日頃感じていること、工場への要望などをお話し頂く活発な意見交換の機会を設ける。

地元町会長意見交換会



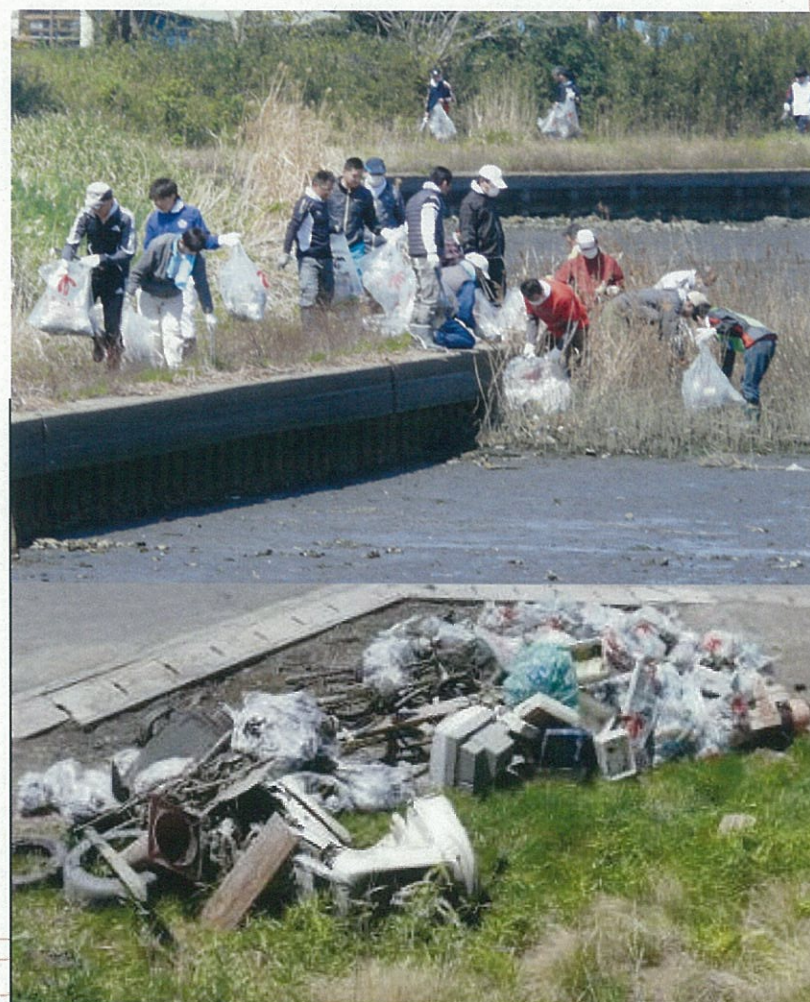
婦人会見学会



⑤近隣地域の環境保全活動

目的：地域環境保全活動の積極的参加

◇青柳・前川清掃（4月）



⑤近隣地域の環境保全活動

◇周辺道路美化、産業道路清掃



◇緑のカーテン活動



⑥会社施設の地域住民への開放

目的：地域社会の交流促進と地域に開かれた工場づくり

○三井化学市原工場福利厚生施設の航空写真



⑥会社施設の地域住民への開放

場所	団体	利用時期
体育館	有秋台バドミントン協会	毎週月・火・木
	市原市バスケットボール協会	毎月
	市原市ソフトバレーボール協会	11月、3月
	市原市バレーボール協会	10月
	市原市国分寺台地区	10月
	市原市有秋地区社会体育振興会	12月
	市原市立明神小学校 P T A	4月、6月
	青葉台シャトル	4月
野球場	市原市少年野球協会	5月~6月、11月
	石油コンビナート野球大会	7月~11月
	市原市野球協会	10月~11月
サッカー場	市原市社会人サッカーリーグ	9月~1月

⑦小中高生の工場見学受入

目的：学校のプログラムに対する受入

真剣に話を聞く子供たち



不思議な現象の原理を勉強中



⑦小中高生の工場見学受入

◇インターンシップ受入

1. 日付：2015年11月11日～13日（3日間）

2. 受入高校・人数

①千葉県立千葉工業高等学校 1名

②千葉県立茂原樟陽高等学校 3名

3. 内容

化学プラントの体験学習により、学校で学んだ知識がどの様に活用できるか、会社の規模、仕事の内容等を学んで学校生活に、目的意識を持って学習してもらう場の提供

⑧化学実験教室の開催

目的：社外に出かけて化学の楽しさ（面白さ・不思議さ）を伝え、化学技術に興味を持ってもらう



地元小学校へのお出前実験教室



地元集会所へのお出前実験教室



地元お祭りへのお出店



工場お祭りへのお出店



⑨地元千葉大学との連携（千葉大学化学講座への講師派遣）

目的：次世代の化学人材育成と産学との連携

千葉大学工学部共生応用化学科専門科目「有機工業化学」（3年生対象）

項目	概要
期間・回数	・4月17日（金）～7月31日（金）、全15回
曜日・時間帯	・毎週金曜日、5限目（16時10分～17時40分）
教室	・工学部5号棟204講義室
受講学生数	・09年度は75名、10年度は71名、11年度66名、12年度63名、13年度は49名が登録
講義	<ul style="list-style-type: none"> ・毎回、出欠を確認・記録して下さい。 ・各テーマに応じ、各自テキストを作成し、講義を行って下さい。 （ご担当外の資料もご参照いただき、関連する部分があれば講義の中に反映させて下さい。） ・各講義の重要ポイントを学生に理解させるよう心がけて下さい。 ・講師から学生に質問するなど、学生が質問・発言しやすい雰囲気を作る。

⑩持続的な環境保全活動（フレアスタック改善）

目的：事業活動にともなう環境負荷の低減

<2011年：黒煙防止対策>

※フレアガス量が増加した際にも、黒煙の発生を防止するため、消煙能力の高い最新バーナーに更新

<2013年：脈動防止対策>

※脈動による騒音の抑制と安定燃焼化を目的に、水シール部を改造



改善前



改善後

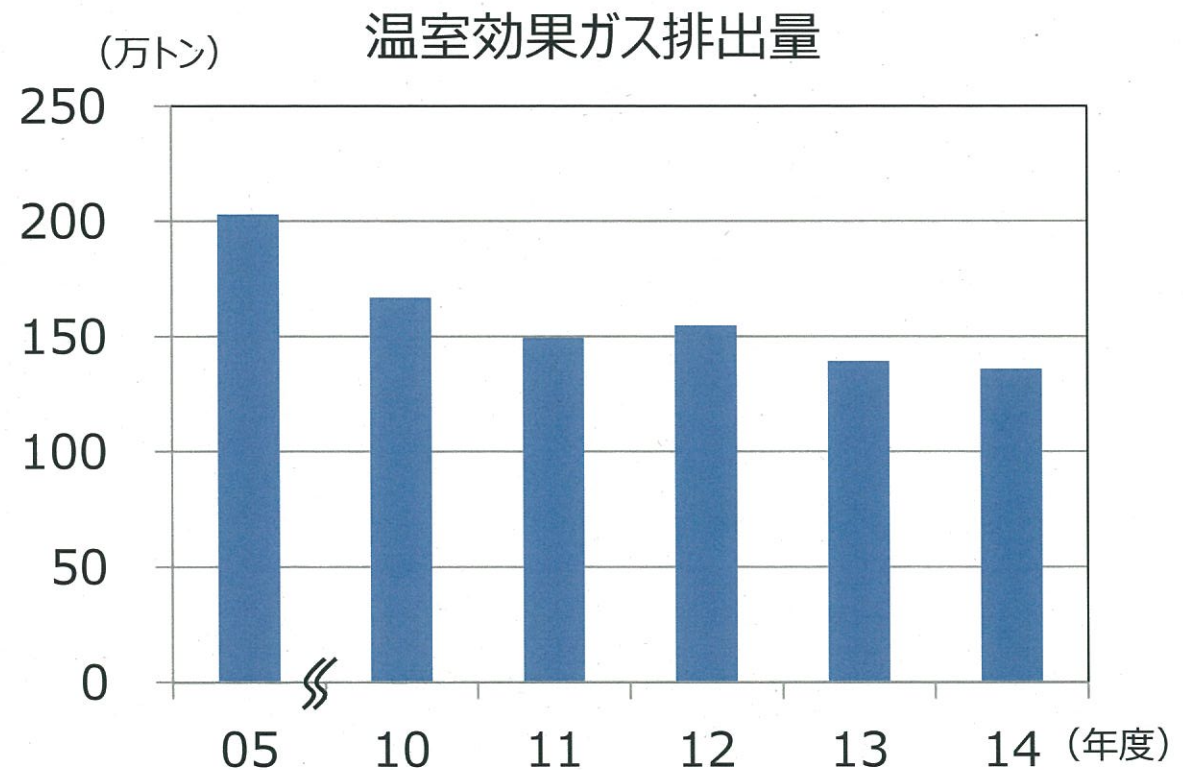


フレアスタック：装置内の可燃性のガスを安全に燃焼処理するための設備

⑩持続的な環境保全活動（温室効果ガス排出量削減）

三井化学グループでは、14年度からの中期経営計画において、16年度までにGHG排出量を2005年度から22%削減（フル稼働ベース）の目標達成に向け省エネルギーの推進、燃料転換、プロセス革新技術の創出等に積極的に取り組み低炭素社会の実現に努めている。

市原工場においても従来から同取組み活動を積極的に行い、天然ガス炊きガスタービンの設置等を行ってきた。
一部の生産設備の停止、生産活動の変動も含めた実排出量は、05年度から33%削減した。



⑪近隣企業との連携による地域貢献

目的：地域の方々と地元企業との融和と連携、地域の発展に貢献する。



★「婚活inコンビナート」参加申し込み書★

♡ 運命の出会いを求めて ♡

日時：平成27年12月19日(土) 15時30分～19時(受付開始15時お)

会場：ブレイク&ワーククラブ(所在地:市原市山口 電話0436-98-1330)

主催者：市原市臨海部工場連絡会神崎・千原支部

出光興産(株)、JSR(株)、住友化学(株)、東燃ゼネラル石油(株)

東レ(株)、東レ・タウコーニング(株)、日本板硝子(株)、三井化学(株)

後援：市原市

※参加ご希望の方は、下記太枠内にご記入の上、出光興産(株)千葉製油所総務課に郵送(12月3日消印有効)ください。

◇まとめ

三井化学グループは、常に地域社会に開かれた事業所を目指しています。地域の方々とのコミュニケーションを大切に、これからの社会を担う子どもたちの育成を支援し、環境に対して様々な働きかけを行い、地域との共生に努めています。

1. 地域社会活動

- ①地域広報誌「ちぐさ」の発行
- ②三井化学杯少年・少女スポーツ大会開催
- ③地域開放型行事「秋まつり」の実施
- ④地域住民との対話、工場見学受入
- ⑤近隣地域の環境保全活動
- ⑥会社施設の地域住民への開放

2. 教育支援活動

- ⑦小中高生の工場見学受入
- ⑧化学実験教室の開催
- ⑨地元千葉大学との連携

3. その他

- ⑩持続的な環境保全活動
- ⑪近隣企業との連携による地域貢献

○三井化学市原工場 工場運営方針

工場活動の透明性を確保し、積極的にお客様及び地域とのコミュニケーションを図る。

○三井化学グループの理念



地域社会への貢献